

# 職員の多様な働き方の推進について

D X 戦略本部事務局

## 1 概要

- 多様化する県民ニーズ等に対応し、行政サービスの利便性を維持・向上していくためには、デジタル技術を最大限に活用し、業務の見直しや効率化を進める必要がある。
- 業務のニーズに合わせて迅速かつ柔軟に対応できるクラウドサービスの利用、電子決裁の導入、ペーパーレス等のデジタル化により、業務の効率化や経費削減を図るとともに、場所や時間の制約を受けないモバイルワークの環境を整備し、多様な働き方を推進する。

## 2 現状・課題

### 働き方や社会情勢の変化

- 業務の効率化や経費削減等の観点から業務資料等のペーパーレス化を進める必要がある。
- 職員の働き方の多様化に対応するため、場所を問わず業務ができるテレワークやWeb会議等が一般的になっている。
- サイバー攻撃による情報漏洩やシステム停止のリスクが増している。

### 執務環境の課題

- 打ち合わせや会議の資料が紙媒体で共有されることが多い。
- 自席でなければ業務ができない。
- 職員が所属や勤務する場所に固定されており、フリーアドレス等の柔軟な職員配置・組織運営ができない。
- 外部からの電話に対し、庁内にいなければ対応できない。
- テレワークやモバイルワークに対応するための事務処理の電子化が不足している。

### 多様な働き方に対応した環境の整備

#### ペーパーレス化

紙中心の業務形態を電子決裁の導入やモバイル端末の活用により、作業の効率化、コスト削減を図る。

#### モバイルワーク

どこでも業務が可能な環境を整備する

#### 業務改善の継続

庁内業務の課題を分析し、デジタル技術を活用した効率化を図る。

## 3 令和6年度の取組

### <ペーパーレス化>

#### ○新財務会計システムの構築

- ・財務会計システムと予算編成システム等の統合
- ・電子決裁機能や審査チェック機能の追加等
- ・構築事業者の選定  
(5月:公告、7月:企画提案協議・決定)
- ・基本設計、詳細設計、データ移行(令和6～8年度)
- ・利用開始(令和9年1月予定)

### <モバイルワーク>

#### ○テレワークの本格実施(4月～)

#### ○行政事務用PCの入れ替え(7～8月)

- ・ノート型PC:4,570台／Microsoft365／顔認証の導入

#### ○無線LANの整備(7～8月頃から順次導入)

### <業務改善の継続>

#### ○7年度以降の調達方針決定に向けた

コラボレーションツールの実証実験(6～9月)

- ・各部局主管課、地域振興局地域企画課等
- ・部局横断プロジェクトや民間との協働等への活用

【コラボレーションツール】

Web会議やクラウド電話など業務効率化につながる機能を有するツール

## 職員の多様な働き方のイメージ(例)

これまで



これから

